

研究所図書室だより 2015年2月



発行: 浦添市立教育研究所 TEL: 098-876-7522 FAX: 098-876-7222 MAIL: uraken5@urasoe.ed.jp (図書司書あて)



月刊誌2月号記事 PICK UP!!



『初等教育資料』

地域・連携・協力した
教育活動の推進



『授業力 & 学級統率力』

永久保存版！
通知表の最強文例集



『児童心理』

子どもと「別れ」

※その他の月刊誌については、研究所ホームページでも紹介しています。『切抜き速報教育版』、隔月刊誌『特別支援教育の実践情報』、週刊誌『教育資料』の記事については、随時ブログにて紹介予定です。

こんにちは、研究所図書室の知花です。

一番寒いといわれる時期ももう終わろうとしています。それでもまだ気温の差が激しい期間があるようですので、体調管理ご注意ください。



蔵書点検を始めています



研究所図書室内の蔵書点検を開始しています。図書資料の返却のご協力をよろしくお願いいたします。

蔵書点検中でも、通常通り貸出し業務をおこなっております。新刊や寄贈していただいた本の登録も多くしていますので、お気軽に足をお運びください。

研究所の駐車場も、空いているところをご利用いただけます。

返却用のブックポストも、研究所前玄関の方へ移動しています。



新着図書のご案内



☆『国語科授業にスリルとサスペンスを』河野庸介

「今日の国語科教師に求められているのは、新学習指導要領国語の趣旨の理解だけではない。そこに示された国語科教育改善」の視点から日々の国語科授業を見直し魅力的な授業を展開して、新学習指導要領国語に示されている言語能力と国語を尊重する態度とを生徒に身に付けさせることである。」

通して、読みの力をつけ、思考力や認識力といった学力を養うのでなければならぬのではなかったか。「活動あって学びなし」といった批判は今にはじまったことではないが、手段と目的とが逆転したような授業が増えているように思われる。」

☆『文学教育の転回』丹藤博文

「「単元を貫く言語活動」以来、はじめから終わりまで「活動」しなければならないかのようである。(略)「言語活動の充実」といっても、「言語活動」を

図書購入のリクエストもまだまだ受け付けております。メールや電話などで、タイトルやテーマなどをご連絡ください。

購入は来年度になる予定です。

今月も図書室だよりを読んでくださりありがとうございました。

(知花)

この図書室だよりは、Microsoft Word のテンプレート「ニュースレター」と、研究所ホームページに紹介されている素材サイトを利用してつくられています。(浦添市立教育研究所 HP→<http://urasoe.ed.jp/uraken/>)